

する意識の向上および転倒減少に有効な方法であった。

誌 2009 ; 137 : 2291 - 5.

3) 羽賀真琴, 饗場郁子, 村井敦子. 神経疾患患者の転倒・転落防止対策. 医療 2006 ; 60 : 50 - 3.

4) Jean Lave, Etienne Wenger (佐伯胖訳). 状況に埋め込まれ学習-正統的周辺参加-. 東京: 産業図書; 2005.

5) 古屋富士子. 安全管理を文化として根付かせるための医療安全管理者の関わり. 医療 2010 ; 64 : 124 - 7.

[文献]

- 1) 饗場郁子. 神経疾患における転倒・転落の特徴. 医療 2006 ; 60 : 15-8.
- 2) 饗場郁子, 勝川真琴, 村井敦子. 神経難病を扱う病棟における転倒発生率と転倒予防対策. 日医会

今月の



隣に伝えたい

新たな言葉と概念

【「転倒患者率」と「転倒事例率」】

英 proportion of fallers, falls per1000 patient-days

同 転倒事例率-転倒・転落率 (転倒率), 転倒・転落発生率 (転倒発生率)

〈解説〉

転倒とは「自分の意志からではなく、地面またはより低い面に身体が倒れること」と定義され、階段、台、自転車からの転落も転倒に含まれ、転倒・転落がいっしょに扱われる場合が多い。

転倒の頻度の表し方はさまざまである。転倒率、転倒発生率など、同じ指標でも報告者により表記の方法が異なる場合がある。具体的に何をみているのかわかりやすく伝えるため、本号の論文では「転倒患者率」と「転倒事例率」という用語が用いられている。

「転倒患者率」は、調査期間中に転倒した患者が全体に占める割合を示すもので、 $\text{転倒患者} \div \text{全患者} \times 100$ (%) で表される。転倒患者率には、個々の患者の転倒頻度は考慮されない。たとえば本邦における地域在宅高齢者の1年間の転倒患者率は20%前後と報告されており、欧米の30-40%に比べ少ない。

「転倒事例率」は病院や施設における転倒頻度の指標で、 $\text{転倒件数} \div \text{延べ入院患者数} \times 1000$ (%) で示される。入院患者全体でどれくらい転倒が発生しているかをみる指標で、病棟毎あるいは病院毎に算出される。「転倒率」、「転倒発生率」と表されることもある。国立病院機構の施設で毎月集計されている「転倒・転落発生率」も「転倒事例率」であるが、千分率でなく百分率 (%) で表示されている。国立病院機構医療安全白書～平成21年度版～によれば、H21年4月-H22年3月の「転倒・転落発生率」は、機構全体で0.2%すなわち2‰であった。また転倒事例率は転倒・転落率として、全日本病院協会のホームページで診療アウトカム指標として公開されており、H23年1-3月は概ね1.88‰と報告されている。

転倒患者率は、入院患者・施設入所中の患者・在宅患者などさまざまな対象に対し使われるが、転倒事例率は入院患者の転倒頻度の指標として使われることが多い。

このほかの転倒頻度の表示方法としては、一人1年あたりの転倒件数を表示する方法もある。

〈関連学会〉 転倒予防医学研究会, 医療の質・安全学会

〈参考HP〉

- ・ 独立行政法人国立病院機構 医療安全白書～平成21年度版～ II 本編1. 転倒・転落防止プロジェクトの運用
http://www.hosp.go.jp/resources/content/8857/2liryouanzen_hakusyo.pdf p14
- ・ 全日本病院協会 診療アウトカム評価: 転倒・転落率
http://www.ajha.or.jp/hms/outcome/bunseki_6.html

(国立病院機構東名古屋病院 饗場郁子) 本誌562pに掲載